

令和5年度 大井川の清流を守る研究協議会総会

1. 開催日 令和5年7月10日（月）午後2時00分～午後3時20分
2. 場所 島田市 大井神社 宮美殿
3. 内容

大井川流域8市2町（島田市・焼津市・掛川市・藤枝市・袋井市・御前崎市・菊川市・牧之原市・吉田町・川根本町）でつくる「大井川の清流を守る研究協議会」（会長・菌田靖邦川根本町長）は10日、本年度の総会を島田市の大井神社 宮美殿にて開催し、各市町の首長及び議長、担当職員、来賓など併せて48人が出席しました。

総会では、令和4年度の事業報告及び収支決算、令和5年度の事業計画（案）と収支予算（案）が審議され、いずれも原案のとおり承認されました。

本年度事業としては、住民を対象とした源流部等視察会や、小学校での環境教育出前講座の実施、会員・幹事等現況調査視察会などを実施する予定です。

また、リニア中央新幹線南アルプストンネル建設における大井川の水量問題については静岡県が先頭となり、大井川水系の水資源の確保及び水質の保全等に関して、静岡県の専門部会や国の有識者会議においてJR東海との対話を進めているところであります。当協議会におきましても、リニア中央新幹線建設に係る諸問題をはじめ、大井川流域の土砂堆積など、大井川の流況改善に関する活動を引き続き関係機関に対し行っていくこと、流域市町が一体となり情報を共有し連携を図っていくことが重要であると確認しました。



総会の様子



総会の様子

総会終了後には、静岡県交通基盤部河川砂防局 河川企画課長 山田真史 氏による「大井川の水利用と堆砂対策」と題して、大井川における水利用をはじめ、田代ダムにおける河川維持流量設定までの経緯、大井川の堆砂対策として土砂排除のための計画内容などについて講演を実施しました。大井川は流域住

民にとっては大切な水瓶であるとともに発電用水でもあり、大井川の役割について再認識しました。



講演会の様子



講演会の様子